

Branch485

《RS485ラインコントローラ》

《RS485 ライン切り替えボード》

- ☆300 軸までのモータ制御が可能
- ☆**LADDER** 言語(**LADDER Motion**)使用
- ☆6 CH の Analog 出力搭載

“Branch485”は、RS485 通信ラインに接続されるモータドライバ又は各種機器を 300 軸まで可能にさせるための RS485 の通信ラインコントローラです。



【第 1. 0 版】

2008年 7月25日

株式会社 **ダイナックス**

〒183-0055 東京都府中市府中町 1-12-7 センタービル TEL:042-360-1621
 〒558-0041 大阪府大阪市住吉区南住吉 1-19-1 TEL:06-6606-4860

DYNAX CORPORATION

1-12-7-1001 FUCHU-CHO, FUCHU-SHI, TOKYO JAPAN FAX:042-360-1837
 1-19-1 MINAMISUMIYOSHI, SUMIYOSHI-KU, OSAKA JAPAN FAX:06-6606-5160

【スイッチ】

SW1 : CPU 動作モード

ビット		起動モード
1	2	
0 (ON)	—	SH2 ブートモード
1 (OFF)	0 (ON)	デバッグモード
	1 (OFF)	アプリケーションモード (通常)

SW2 (ロータリ) : 局番設定

【LED】

LED1 : (緑) 電源パイロット

【コネクタ】

CN1 : 24V 主電源 (B2P-VH-FB-B:JST)

1	24V	2	GND
---	-----	---	-----

CN2, 3 [485] : Slave (B3P-SHF-1AA:JST)

1	485+
2	485-
3	GND

SLAVE は上位コントローラに接続される通信ポートで、複数の **Branch485** が使用される場合、分岐用に 1 個を使用することが出来ます。最終の **Branch485** は、終端抵抗を接続する必要があります。

JP1 : Slave 485 終端抵抗接続

オープン	非接続
ショート	接続

CN4 [RS485] : Master1 (B3P-SHF-1AA:JST)

1	485+
2	485-
3	GND

最初の 30 軸用の RS485 マスターポートです。

CN5 [RS485] : Master2 (B3P-SHF-1AA:JST)

1	485+
2	485-
3	GND

後半の 30 軸用の RS485 マスターポートです。

CN6 : Analog Out (B12B-PADSS-1:JST)

1	A0-1	2	GND
3	A0-2	4	GND
5	A0-3	6	GND
7	A0-4	8	GND
9	A0-5	10	GND
11	A0-6	12	GND

PWM 式アナログ出力 (0~10V)

J1 : デバッグ TTL-232 (B4B-EH:JST)

1	+5V
2	RXD
3	TXD
4	GND

【外形図】



